

文 國 津 弱

第 12 号

□論 文□

- 近世中期上方歌舞伎の問題……………乙 葉 弘…(1)
惟喬・惟仁位争い説話について(下)……………水 原 一…(7)
——軍記における傍流談の考察——
歌物語から物語へ……………高 橋 文 二…(23)
紫の上の終焉……………横 井 孝…(33)
三宝感応要略録と今昔物語集について……………佐 原 作 美…(42)
西行の奥州再度の旅の背景……………坂 口 博 規…(57)
小林秀雄と狂女……………野 田 俱 一…(74)

□資 料□

- 『禅門抄物叢刊』第三
「大淵和尚再吟」の本文(下)……………山 田 巖…(83)
——「禅道文刹」との対校——
木 村 晟

□新刊紹介□

- 大友信一・木村晟編「日本一鑑本文と索引」……………渡 辺 三 男…(109)

- 昭和48年度修士論文・卒業論文題目一覧, その他……………(106)

【後記】

◇ 本誌第十二号に乙葉弘教授の巻頭論文を始めとする七篇の論文と一篇の資料を収めることができ、紙幅が些か膨脹する結果となった。嬉しい限りである。

◇ 研究室編輯の刊行物も、今般新たに「游歴日本図経本文と索引」（笠間索引叢刊49）を公刊し得た。また続刊中の『禪門抄物叢刊』は第六の「禅林類聚撮要抄」の刊行を間近かに控えているし、かねてより予告していた「日本風土記本文と索引」も三月下旬には発刊できそうである。ご期待を乞う。

◇ 第十三号は夏休み前に編輯したく思うので、六月中旬までにご投稿願いたい。なお本号に紙幅の関係で掲載できなかった論文・資料については次号廻わしにさせていただきます。ご諒承賜わりたい。

◇ 本誌発刊に関してはすべて国文学研究室の編輯會議の決定によったが、特に掲載論文・資料については、編輯委員である

柴生田 稔（上代文学） 渡辺 三男（中古文学）

富倉徳次郎（中世文学） 乙葉 弘（近世文学）

山田 巖（国語学）

が中心に指導した。

駒沢国文 第十二号

昭和五十年二月二十日 発行

編輯者 駒沢大学文学部国文学研究室
発行者

代表 渡辺 三男

●一五四 東京都世田谷区駒沢一丁目二三番地一号
発行所 駒沢大学文学部国文学研究室

振替 東京五九二二二番

●一一二 東京都文京区本駒込六ノ二五ノ一

印刷所 小林印刷株式会社

電話(九四二)〇〇三六番